

7/18 (土) 釜のふたまんじゅう

泉公民館で、泉地区むらづくり推進会議と泉公民館共催の「釜のふたまんじゅう作り教室」が開催されました。矢板市周辺では、8月1日にあの世（地獄と言う人もいる）のふたが開けられ13日間かけて御先祖様がお墓まで歩いて来るのに「お腹が空かないように」と炭酸まんじゅうを作り、仏壇に供えるという習慣が残っています。この日は30人が参加し、地元の達人から作り方を学びました。参加者からは「我流ではなく達人の作り方を学びたかった」「失敗しない分量のコツがわかった」などの声が聞かれました。



7/18 (土) 認知症講演会

文化会館小ホールで、矢板市医師団の有志による「認知症医療連携を考える会」が開催されました。この会は、超高齢社会が進行する中で、認知症への理解を少しでも深めていくことを目的として開催されています。認知症に関わっている市内の医師から、認知症の種類や症状などが話され、その後、日本福祉大学来島修志先生から「認知症を予防するには、昔のおもちゃや道具などを使い、記憶を呼び覚ます回想法が有効である」との話があり、約400人の参加者は真剣に耳を傾けていました。



8/1 (土) 子ども会の交流大会

矢板東小学校のグラウンドで矢板地区子ども会育成会主催の野球・ソフトボール大会が開催されました。野球は4チーム、ソフトボールは2チームが参加し、1年生のかわいらしいバッターから6年生の本格派バッテリーが熱い戦い繰り広げました。グラウンドには選手や監督、コーチ、保護者の方たちの歓声が響き渡り、地域コミュニティでの交流を深め合う楽しい大会となりました。



【ソフトボール】
優勝：富田
準優勝：GOKU

【野球】
優勝：南部城山ジャイアンツ
準優勝：GOKU
3位：中東B
4位：富田

8/7 (金) 花いっぱい運動

矢板市自治公民館連絡協議会による「花いっぱいコンクール」の審査会が行われました。このコンクールは、花づくり自慢の自治公民館15館がその出来栄を競い合うものです。公民館の周囲と道路の路肩や花壇をカンナ・サルビア・マリーゴールドなど色鮮やかな花で彩った大槻が最優秀賞に輝きました。地域の大切なシンボルとなっている花々は、農地・水環境保全向上対策事業の「大槻はたるの郷保全会」が中心となり丹精込めて育てたもので、道路を利用する人々やドライバーにとっても、心の安らぎどころとなっています。



【審査結果】
最優秀賞：大槻
優秀賞：第一農場 乙畑
努力賞：通岡 塩田

祝！ 関東・全国大会出場

県の予選を勝ち抜き、関東大会・全国大会の出場を決めた、矢板東小学校の福田蒼依さん（陸上競技）、矢板中学校 相撲部・弓道部の皆さん、泉中学校 陸上競技部の村上和寿さんが教育長を表敬訪問しました。東小学校の福田さんは「全国大会でベストを尽くしたい」と話してくれました。矢板中学校・相撲部の皆さんは、昨

年に引き続きの出場。3年生の小野崎さんは「今年はさらに上を目指して頑張るぞ」と熱い抱負を話してくれました。また、弓道部は団体の関東大会出場だけでなく3年生の田中萌さんが個人の県予選で優勝し、全国大会へ出場しました。陸上競技では泉中の村上和寿さんが全国大会へと勝ち進みました。

<p>陸上競技 (東小学校) 福田 蒼依 (5年) 8月21日(金)・22日(土) 第31回全国小学生陸上競技交流大会 神奈川日産スタジアム</p>	<p>相撲 (矢板中学校) 大島 啓彰(2年) 高杉 未羽(2年) 菊地 啓太(1年) 小野崎 洋統 (3年) 齊藤 和司 (3年) 8月8日(土) 第39回関東中学校相撲大会 成田市中台運動公園相撲場</p>	<p>弓道 (矢板中学校) 手塚 望葵(3年) 館脇 李枝(3年) 村中 夏海(3年) 板谷 朱音 (3年) 田中 萌 (3年) 8月12日(水) 第26回関東中学校弓道大会 明治神宮至誠第二弓道場 8月21日(金)・22日(土) 第12回全国中学校弓道大会 明治神宮至誠第二弓道場 (田中 萌さんのみ)</p>	<p>陸上競技 (泉中学校) 村上 和寿 (3年) 8月6日(木)・7日(金) 第43回関東中学校陸上競技大会 茨城県ひたち中市陸上競技場 8月18日(火)~21日(金) 第42回全日本中学校陸上競技選手権大会 札幌市厚別公園陸上競技場</p>

8/6 (木) 災害協定を結ぶ！

市役所で栃木県電気工事業工業組合と市が「災害時における電気設備等の復旧活動および電気に係る事故の防止に関する協定」を締結しました。大規模な災害の際には、災害本部等の設置や初動活動にあたり、電気がとても大切です。この協定を結ぶことで、迅速な復旧活動への初動体制が整うことになります。組合の吉成理事長からは、「県内全部の自治体と締結し災害に備えたい」と、市長からは「ライフラインの復旧などに備えるためにもとてもありがたい」との話がありました。



8/10 (月) LINEで情報発信

市役所で(株)フィデスと市がLINE（ライン）による市政情報等発信事業についての委託契約を結びました。この事業は、(株)フィデスの社会貢献活動の一環として、スマートフォンなどのアプリケーションLINEを使い、市からのお知らせや緊急情報、市内の店舗情報等の発信業務を無償で請け負うものです。千野根社長は「市と協働で皆さんのニーズに合った情報を発信していきたい」と、市長からは「とてもありがたい。子育て世代の方に利用していただきたい」との話がありました。

